

一般質問の模様は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。



2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧いただけます。



「道の駅おおた」「旧おおた・北茨城交流物産館」を巡る「選定」の検証について



市民ファーストの会 神谷 大輔

**議員** 指定管理者候補者審査委員会の外部委員における関係団体からの推薦根拠について伺います。

**総務部長** 団体からの推薦は必須ではありませんが、当初、道の駅おおたでの委員の選任では、関係団体などから有識者の推薦があったと聞いています。



**議員** 指定管理者候補者審査委員会のあり方について伺います。

**総務部長** 委員会の運営や選任は指針に基づき適正に行っていきたいと考えています。

**議員** 旧おおた・北茨城交流物産

館のプロポーザル選定委員は5人中2人が市職員でしたが、公平性、第三者性の担保について伺います。

**産業環境部長** 委員の半数以上が外部からの有識者であり、担保は取れていると考えています。

**議員** 委員選任の重要性や透明性、公平性、責任の所在について、市長に所見を伺います。

**市長** 事業者を最終的に決定するのは市であり、選定委員会などは第三者的な視点から審査や評価を行う補完的な立場ですが、誠実で適正な職務遂行が求められていると考えています。

**議員** 透明性確保のためにも、改善の必要性について所見を伺います。

**市長** 会の目的や委員に必要な職責などを総合的に勘案していくべきであると考えています。

■その他の質問

▷入札におけるインセンティブ発注について



太田市長旗争奪東日本還暦軟式野球大会(太田市長杯)について



市民ファーストの会 大川 敬道

**議員** 本市で毎年開催している太田市長旗争奪東日本還暦軟式野球大会の概要について伺います。

**文化スポーツ部長** 本大会は、毎年5月中旬に太田市運動公園野球場他3会場で開催しており、関東や東北、北海道、新潟県の還暦野球チームのうち、各都道府県の還暦野球連盟から推薦された最大32チームで争われています。

**議員** 本大会を本市で開催する意義について伺います。

**文化スポーツ部長** 本大会は生涯スポーツの振興のみならず、参加チーム間による交流や飲食、宿泊、観光を通じた経済効果や関係人口の拡大が図られていることから、スポーツによるまちづくりの一環として大きな意義を持つ事業だと考えています。

**議員** 開催時期に関する要望や対応について伺います。

**文化スポーツ部長** 雪解け時期のため、6月に変更要望がありますが、都市対抗野球北関東大会と重なるため、5

月と7月開催の案で調整しています。

**議員** 本大会は長い歴史があり、経済効果や関係人口の拡大が見込め、本市をアピールする絶好の機会です。来年度も本市で開催すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 引き続き、関係機関と調整や連携を進め、「スポーツのまち太田」を代表するような大会が開催できるよう努めていきたいと考えています。



■その他の質問

▷八王子山公園墓地の分譲条件の緩和について

▷働きやすい職場づくりについて



渡良瀬川におけるクマ出没対策と広域連携危機管理体制の強化について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

**議員** クマ出没時に市民の生命と安全を守るためには関係機関との連携や初動対応のスピードと実効性を確保することが不可欠ですが、現状と今後の方針について伺います。

**農政部長** 大型獣が出没した場合などは、警察や消防本部と連携し、周辺パトロール、住民への注意喚起を行っています。猟友会には、出没状況などを考慮した上で安全確保に向けた対処方法を協議しており、連携して対応したいと考えています。



**議員** 大型獣を引き寄せない環境づくりが最も効果的な予防策と考えま

すが、その対策について伺います。

**農政部長** 放任果樹の伐採のほか、山際の地区には田畑などにおける誘因物の撤去を周知しています。

**議員** 論語に『民信なくば立たず』という言葉があり、住民の安全に対する信頼が揺らげば行政はその存在意義を失うという意味です。今、クマ対策はまさにその局面にあると思われるので、市民の命と生活を守るためにクマ対策の強化を迅速に進めていただきたいと考えていますが、今後の獣害対策について、市長の所見を伺います。

**市長** 国や県との連携やクマ出没を想定した体制整備が必要で、猟友会や出没想定地区と情報共有、情報交換を通じて持続可能な獣害対策体制を構築したいと考えています。

■その他の質問

▷日銀金利上げ局面における地域経済の受け皿と制度融資による成長支援について



市長公約「有機農産物の利用促進」と学校給食への展開について



参政党 仁藤 すぐる

**議員** 本市の食育や学校教育全体の中での有機農産物の位置付けと、みどりの食料システム戦略や「有機農業の日」の取り組みを踏まえた本市の方向性について、教育長の所見を伺います。

**教育長** 有機農産物は環境負荷低減や持続可能な食料生産の促進に対する理解を深める観点からも、学校教育に有効であると考えています。課題として、必要な食材量の確保とコスト面の問題が挙げられますので、先進事例を参考にしながら、調査研究を進めていきたいと考えています。

**議員** 市長公約の中で「学校給食での地元農産物や有機農産物の利用促進」を掲げていますが、現在の価格や供給量の制約を踏まえつつ、今後どのように具体化していくのか、市長の所見を伺います。

**市長** 価格や供給量が課題であると感じていますが、国や県に追随しながら、本市としてもしっかり取り組んでいきたいと考えています。今後の学校

給食への有機農産物の導入については、見通しも含めて検討を進めていきたいと考えています。



**議員** 有機農産物を取り入れた給食導入の優先度について、所見を伺います。

**市長** 「有機農業の日」は非常に良い機会だと思いますので、例えば家庭科の授業で材料を使用するなど、有機農産物を活用する取り組みを検討し、一歩ずつ進めていきたいと考えています。

■その他の質問

▷潜在保育士の復帰支援と保育現場の負担軽減について